

平成30年度 第2回 峡南地域保健医療推進委員会議事録

日時 平成31年3月12日(火) 16:00～17:00
場所 南巨摩合同庁舎 3階大会議室
出席者 委員 出席18名
代理出席1名
各町福祉保健関係課長 5名
事務局 峡南保健福祉事務所 10名

【概要】

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 峡南保健福祉事務所長あいさつ
- 4 議事
 - 1) 平成山梨県地域保健医療計画に基づく「峡南医療圏域アクションプラン」の実施状況について

事務局から、資料1により説明
(質問、意見なし)

- 2) 平成30年度峡南保健福祉事務所の重点事業・主要事業の実施状況について

事務局から、資料2により説明

○会長

峡南在宅患者情報共有システム(コメント)はどのような経過のもと、廃止の方向になったのか。

○委員

コメントの運用に利用しているサーバは、峡南地域患者情報共有システム(コンパス)のものであるが、コンパスは、山梨大学医学部附属病院との患者情報の共有を一義的に考えていたが連携が進まなかったことから、結果として、利用が広まらず維持費だけがかかっていたという事情で、現在のところでは廃止状態となっている。

○会長

災害時体制の整備において、携帯型デジタルトランシーバーというものを初めて聞いた。県医師会では各医師会に衛星携帯電話を設置し、連絡網を作成し連携体制を整備している。町をはじめ各関係機関においても衛

星携帯電話を使用していると思うが、衛星携帯電話とこのデジタルトランシーバーは、どのような使い分けをしているのか。

○事務局

大規模災害時には、原則、衛星携帯電話を用い、情報伝達を行っていただくことになっている。峡南地域の特徴として、山間部が多いことと、衛星携帯電話は、角度や配置場所等設置が難しい一面もあり、電波がうまく届かないこともある。万が一、衛星携帯電話が使用できない場合の最後の手段として、保健所ではデジタルトランシーバー導入の検討を行った。また、平成29年度には、各関係機関にご協力をいただく中で、デジタルトランシーバーの検証を行い、電波が届くことが確認されたことから、整備を進めていった。

3) 病院群輪番制病院運営事業 平成29年度事業報告・決算報告について

事務局から、資料3により説明
(質問、意見なし)

4) 峡南地域在宅医療広域連携会議(専門委員会)の報告について

事務局から、資料4により説明
(質問、意見なし)

5) その他
(意見等なし)

5 その他

事務局から、第51回衛生教育奨励賞受賞について報告

6 閉会